

特集

経済学への手引き
—学生達と教師の対話



デイヴィッド・ヒューム「貿易の嫉妬について」

Hume, David. *Essays and treatises on several subjects.* (新版 1760) 所収

CONTENTS

- 図書館長就任にあたって 三浦俊彦 (商学部教授)
- 特集 経済学への手引き—学生達と教師の対話 只腰親和 (元経済学部教授)
- 第1回学生選書ツアーを開催しました！
- CHOISを使おう
- 新取資料紹介 / 図書館公式Twitter運用中！

図書館長就任にあたって

2021年4月1日より、図らずも中央大学図書館長に就くことになりました三浦です。

さて、皆さんにとって、「図書館」とはどういうイメージでしょうか？

好きな本が借りられるところ？ 勉強好きが行くところ？ 課題を調べるために行くところ？ ソファでくつろげる穴場？ などなど。

いろんな見方がありますが、一言で言えば、私は「知の宝庫」と思っています。

ローマ神話の知の女神ミネルヴァは、夜中に自分の飼っているフクロウを世界中に解き放ち、世界のあらゆる出来事を見聞させ、それを朝に報告させるので、ミネルヴァの頭の中には世界の森羅万象の知が詰まっていますが、図書館も似たようなものです。何でも揃っています。それを使うかどうかは皆さん次第です。

皆さんのやる気と、それを受け止める図書館の体制があって始めて知のイノベーションは達成されるので、図書館長として、図書のデジタル化などへの整備も含めて、学生の皆さんの知のイノベーションをお手伝いする仕事ができればと思います。また、大学院生の皆さんや教職員の皆様のさらなる研究ご発展の一助になればと思っています。

皆様のご支援、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

図書館長 三浦俊彦（商学部教授）

三浦館長のオススメ

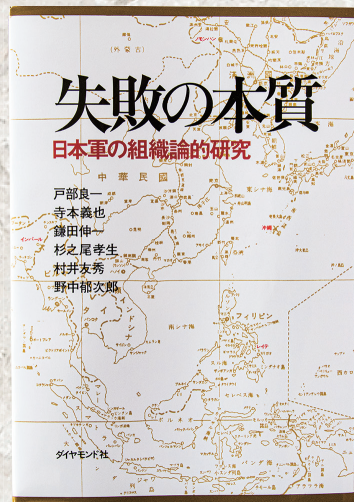
日本の消費者は、品質基準が厳しくて世界一タフな消費者と言われたり、日本の職人は、匠の技を磨き世界に冠たるモノづくり大国を作ったと言われるように、日本の「個人の強さ」はよく知られている。一方、最近、よく感じるのが、日本の「組織の弱さ」であり、それを歴史事例から教えてくれたのが、『失敗の本質－日本軍の組織論的研究－』である。

本書は、第2次世界大戦で日本陸海軍がなぜ失敗（敗戦）したかを、6つの大きな戦いについて、歴史学者、戦史学者、経営学者ら6人が、組織論的に分析した。

ノモンハン事件（1939）では、日本・ソ連間で戦闘が起り、最終的に、ソ連の充実した機甲部隊に壊滅的打撃を受けた。日本軍を圧倒したソ連司令官ジューコフがモスクワのスターリンに次のように報告した。「日本軍の下士官兵は頑強で勇敢で、（青年将校は狂信的な頑強さで戦うが、）高級将校は無能である。」この言葉に日本の組織の弱さが凝縮されている。詳細な分析は同書に譲るが、付度走り、グランドデザインを描けないトップが牛耳る組織の中で、現場のがんばりだけで日本はやってきた。

今回のコロナ禍でも、感染に関して、現場（病院など）は必死に対応しているが、政府や厚労省のグランドデザインはなかなか見えない。リモートワーク対応については、現場の社員は必死に対応しているが、社長以下トップ・マネジメントがグランドデザインを描けていない。「欧州、在宅勤務が標準に」という見出しが日本経済新聞の一面を半年以上前に飾ったが（2020.6.13）、比較すると歴然である。

皆さんが日本の組織をイノベートすることを期待する。



失敗の本質－日本軍の組織論的研究
戸部良一〔ほか〕著
ダイヤモンド社、1984.5.

只腰親和（元経済学部教授）

登場人物

A 経済学のある教員 B 今春の卒業生 C 新二年生

B 先生、今日は後輩の C 君を連れて卒業のご挨拶にきました。

A そうか、キミと C 君は同じサークルだったね。まずは、卒業おめでとう。

B ありがとうございます。

A と言っても、最後の 1 年間は新型コロナの影響で、例年通りの授業を受けられなくて気の毒な気はするが……。ところで今日は、卒業に際して後輩の C 君に、キミがわたしの前でお説教でもしようという算段かい？ わたしの経済学史のゼミ生のキミが、C 君にわたしの入門演習を勧めたという話を以前、聞いたような気がするけど。

C いいえ。先輩と雑談をしている中で、自分が経済学にあまり関心を持ってないとボクが愚痴をこぼしたら、先輩が先生のところと一緒にいこうと誘ってくれたんです。

B 自分が卒業を迎えて、C 君にはボクよりももっと有効な学生生活を送ってもらいたいと思って先生の研究室にお邪魔しました。ボク自身、4 年間、経済学部で在籍していましたが、正直言って講義を受けた経済学のさまざまな科目についてじゅうぶん理解できたとは思えないし、経済学のすべてに大きな興味をもつようになったとも言えません。

C そうかなあ、ボクから見ると、先輩は図書館によく通ってすごく勉強しているように見えたけど……。

A どんなに真剣な生活を送っても—と言うよりそうであればあるほど—何らかの後悔や反省があるのは自然なことだよ。わたしから見ても、B 君は経済学部の学生としてよく勉強してきた学生だと思うが、ところで B 君は経済学に興味をもてないと言ったけれど、それをもう少し具体的に言うとうどういことかな。

B そうですね、かんたんに言うと経済学を学んでも現実の人間の姿がなかなか見えてこないような気がするんです。やはりボクは、ひごろ接する生身の人間におおいに

関心があるのですが、経済学ではどうもその点が……。

A それは重要なポイントだ。少し専門的になるけれど、一般に学問には抽象ということが不可欠だということはキミ達も分かっていると思う。

C ボクはいま初めて聞いたように思います。

A 「抽象」について立ち入った説明をするととなると哲学的な議論になるし、わたしの専門でもないのでかんたんに話すとは次のように言えると思う。自然を研究対象とする自然科学と区別される、人文、社会科学は全体として人間や人間から構成される社会を考察対象としている。人間や社会をひとつの学科目だけですべて解明できるとすれば、そんな有効で便利なことはないけれど、ひとつの学問だけでそうやすやすと人間や社会の全貌を明らかにすることはできない。

C たしかに、人間はひとりひとり違ってますよね。

B そう言ってしまえば、そもそも社会科学は成り立たないと思うんだ。ひとりひとりの人間は違うかもしれないけれど、個々人の一定の状況における対応は異なった人間でも共通しているように思う。先生がおっしゃる抽象とは、そのような共通性に着目した議論ではないでしょうか。

A 抽象というのは人間の行為や性質だけにあてはまる概念ではないけれど、一つの例としては B 君の言うようなことだろう。その上で、人間や社会にはすぐに気がつくだけでも、政治的側面、法的側面、経済的側面、倫理的側面、心理的側面、性的側面等のいろいろな側面がある。そうしてこのそれぞれの側面を、固有の概念を通じて抽象するところからそれぞれの個別の学問分野が成立することになるのだね。少し具体的な例をあげれば、経済学的な概念で、政治や法の問題である三権分立を解明することは困難だと思わないかい。三権分立を的確に理解するには、やはりそれに相応しい政治学や法学に固有の概念が必要だということだ。

C ボクのアタマではだいぶ話が難しくなってきたように思えるのですが、先輩が言っていた経済学では人間の姿が見えないということと、今の先生の説明とはどう関係するのでしょうか。

B 抽象については先生の講義で説明を聞いた記憶はありますが、ボクも今の先生のお話と当面の課題との関連を知りたいと思います。

A うん、つまり人間にはさまざまな側面があってそれを一挙には解明できないので、複数の学問が分担してそれぞれに固有の概念で人間を分析するわけだけれど、そのうち経済学の場合の一例をあげれば、効用極大化という概念を用いて、それを目的とする消費活動に焦点を絞って人間にアプローチするということになる。言うまでもなく人は年柄年中、消費（モノを買う）活動をしているわけではない。現にキミ達が大学に来て過ごす時間のうち、消費というのはするとしてもごく一部に過ぎないよね。しかし、そうやって焦点を絞ってその他の部分を切り捨てる—これを抽象と反対に捨象という—からその範囲内では厳密な推論をできることになる。だがその一方でB君が、そのようにして経済学で教えられるような人間と、キミ自身が日々観察するまわりの人々との間にギャップを感じるのもっともと言えるわけだ。

B 抽象の意味があらためて分かったように思います。

A いまわたしが言ったような人間の行動の抽象化については、19世紀の思想家J.S.ミルが『論理学体系』（1843）という書物で述べているはずだ。

C 高校で習った日本史の知識のうろ覚えですけど、1843年と言えば日本の江戸時代のことですよええ…。

A ミルは、同時代のフランス人で社会学の祖と言われるコント（『実証哲学講義』1830-42）の影響をうけて書いているわけで、時間がたっても、古典といわれる書物はみな時代を超えた真実を伝える一例と言える。



共に全集より 左 J.S.ミル『論理学体系』、
右 コント『実証哲学講義』

C そうすると経済学を学ぶためには、過去の経済学者達が人間を分析して経済に固有

だと見なしてきたいろいろな抽象概念に取り組むことにじっと耐えるしかないのでしょうか。

A ある経済学者はそのような作業を、囲碁を身につけるために定石を覚えることに例えている。だから「耐える」という表現が適切かどうかは別にして、ある程度そういうことは言えるかもしれない。ただC君にとってあるいは救いになるかもしれないのは、経済学にはその裾野まで見れば、ただそうやって「耐える」だけとは言い切れない分野もあることで、別の言い方をすればそれだけの幅広さを経済学はもっているということだ。

B ボクたちのゼミでは入門編として吉野源三郎という人の『君たちはどう生きるか』という書物をやったわけですが、そこにはニュートンの天文学や、アダム・スミスの『国富論』（1776）の冒頭に分業論を想起させるような叙述があって、しかもそれが主人公のコペル君という少年（中学生）の身近な個人的体験と結びつけられて話がすすむので、自然に学問一般や経済学への興味がわく経験をした記憶があります。

A 今から80年位前に出版され学習的な内容のあの書物が、比較的最近、漫画化されてポピュラーになったけれど、わたしのゼミではそんなブームとは別にあの本を取り上げてきたつもりだ。

C ボクはその本の名前ぐらいしか知りませんが、今度ゼミでトライしたいと思います。先生、幅広いとおっしゃる経済学には、「じっと耐えなくとも」自然に興味があくもって別のルートもありますか。

A B君どうだい、キミからなにか『君たちは…』のようなアドバイスはないかい？

B そうですね。これは先生がゼミで話されたことですが、経済学者の伝記もひとつの経済学への入り口ではないでしょうか。そういう点ではさっき名前の出たJ.Sミルの『ミル自伝』（1873）などは、ボクも読みましたが、同時代の経済学に自然に興味をもつひとつの手段だだと思います。

A たしかにそうだね。『ミル自伝』のひとつの目玉はジョン・スチュアート・ミルの父ジェイムズ・ミルが息子に超早期教育をした部分で、教育の中身が特異なだけに内容に共感をもてるかどうかは別にして、教育の仕方が刺激的なだけに経済学に入っていくひとつの入り口にはなりそうだね。またミルの場合のように自伝ではないけれど、著名な経済学者にはそれぞれ伝記があって、いま思いつくものだけを



ランダムに挙げて、例えばロス『アダム・スミス伝』(1995)、カー『カール・マルクス』(1934)、ハロッド『ケインズ伝』(1951)などは、当の主人公たちは勿論、伝記作家の方にもそれぞれ個性があって読み比べてみると面白いかもしれない。

B 先生、もうひとつ中大の図書館の資料をきっかけにするのはどうでしょう。大学の図書館には経済学関係のいくつかのコレクションがありますよね。

A わたしもそれを言おうと思っていたところだ。C君、この大学の図書館にネットでアクセスすると、「特別コレクション・古文書一覧」という項目があるのを知ってるかい？

C いいえ、今まで気がつきませんでした。

A そこをたどっていくと、この図書館が所蔵している貴重なコレクションに行き当たる。マンデヴィル、ヒューム、古典派経済学、ベンサム、マルクス等のコレクションが経済学に関係しているけれど、全部を取り上げるわけにはいかないので、いまはヒュームについて考えてみたいが…。

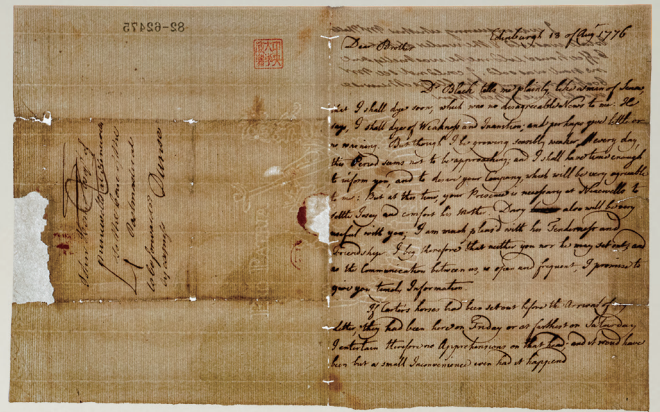
B ヒュームと言えば、18世紀イギリスの哲学者ですよ。

A たしかに現代ではヒュームは第一に哲学者として知られていると思うけれど、彼は哲学だけではなく政治、経済、倫理、歴史、宗教等の論文や書物を書いている。中大図書館のコレクションには、その彼が生前みずから手がけた自著の各版すべてが所蔵され、現物だけではなく本学の先生がそれらを整理して書物にまとめた目録も作成されている(正式なタイトルは、*David Hume and the Eighteenth Century British Thought--An Annotated Catalogue*, 1986-88)。またコレクションにはヒューム直筆の手紙も20通ふくまれている。



手紙も20通ふくまれている。

C しかしそれだけのものを、学生のボク達が有効に利用するのは難しいのではないのでしょうか。



ヒュームの書簡(1776年8月13日)

A そうも言えるかもしれないけれど、ネットでみればわかるように、ヒュームコレクションの画面には「ヒュームの生涯と著作活動」という項目があって、文字通り彼の生涯と著作が説明されていて、それを読むだけでもヒュームへの関心の糸口になると思う。また手紙について言うと、直筆の手紙を英語が母国語でないわれわれが判読するのは容易ではないけれど、ネット上に(目録でも)活字化されている。中には病気で死を意識しながら兄弟にあてた手紙もある。先ほど述べた学問に固有の抽象概念とは違った、人間味ある学者の生の声を聞くことができるわけだ。

経済に関してもヒュームは、「貿易の嫉妬について」(*Political Discourses*, 1758)というタイトルの論文を書いているが、国同士の経済的な関係である貿易について、人間関係の情念を援用して論じているのだけれど、現代の貿易についての専門論文とはひと味違った親しみを感じられる。だからといって彼の経済学説が素朴な過去のものだというわけではなく、同じ書物にふくまれている貨幣数量説は現代の経済学者でも支持する人がいる。だから、このコレクションも経済学に自然に近づくひとつの登山道ではないかな。

C わかりました。ネットで検索してみます。

B ボクも大学は卒業しますが、興味があるので暇をみて中大図書館に通ってヒュームコレクションの現物にあたってみたいと思います。

B C 先生、ありがとうございました。

第1回 学生選書ツアーを開催

しました！

2020年12月9日(水)～11日(金)、中大では初めての試みとして、学生が図書館の蔵書となる本を自ら選ぶ、「学生選書ツアー」を開催しました。

応募者多数の中、抽選で当選した16名が実際に店頭で本を手に取り、2時間という短い時間の中で、“中央大学図書館に置いてほしい本”“他の学生さんにお薦めしたい本”などを没頭して選んでくれました。

選書ツアー後は、各々が選書した本について、選んだ理由、おススメしたい理由を書いた紹介文(POP)を作成してもらいました。

第1回学生選書ツアーで選ばれた資料とPOPは、中央図書館4階と図書館理工学部分館に展示しています。



@丸善多摩センター店!



選んだ本は、スマートフォンから Knowledge Worker(丸善サイト)で検索→カートに入れてもらいました!

中央図書館4階



理工学部分館



購入本リスト (抜粋)

- お探し物は図書室まで
- 公務員1年目の教科書
- 幸せになる勇気(自己啓発の源流「アドラー」の教え2)
- 民王(文春文庫)
- ペヤングソースやきそばで学ぶ問題解決力
- 男心・女心の本音がわかる恋愛心理学
- 東京23区境界の謎

など

参加した感想

自分で図書館に蔵書したい本を選定できるとも貴重な機会でした。友人と相談しながら本を実際に手に取って選ぶことが出来てとても楽しかったです。
文学部 N.T.さん

自分だけでなく学生の皆にも読んでほしいと思う本を選んだ。普段とは異なる視点で本を見ることが出来て面白かった。
経済学部 Y.T.さん

図書館へ行ったことがない私は、この活動を通じて、蔵書の多量さを知りました。有意義な時間を過ごしました。次回を楽しみにしています!
国際経営学部 G.C.さん

私が選書した本が図書館に並び、誰かの手に渡る、その日を心待ちにしています。私が卒業してもその本が残ることは、私が中央大学に通った証になるのと同時に、後輩とも繋がっていられるような心地がします。
文学部 T.S.さん

CHOIS を使おう

CHuo Online Information System

中央大学図書館には全体で約 245 万冊の蔵書があります。その中から読みたい資料を効率的に探し出すには、CHOIS（中央大学図書館蔵書検索システム）の検索方法をマスターすることが必須です。また、CHOIS には、資料の検索以外にも様々な機能がありますので、ぜひ使いこなしていただければと思います。

CHOIS へのアクセス

<https://opac.library.chuo-u.ac.jp/>
図書館ホームページ→「資料をさがす」→「蔵書検索 CHOIS」



▶「CHOIS 検索操作ガイド」には、ここでは紹介しきれなかった CHOIS の詳しい使い方が載っています。



開館日・開館時間が確認できます。来館予定をたてる際にご覧ください



Pick up ①

電子ブック／電子ジャーナル



*資料種別： 全て 図書 雑誌 E-Book E-Journal

電子ブック／電子ジャーナルは、学外からでも利用できとても便利です。CHOIS 検索画面の「資料種別」を E-Book、E-Journal に指定すると、電子ブック／電子ジャーナルに絞り込んで検索することができます。書誌詳細のアクセス先をクリックすると、電子ブック／電子ジャーナルにアクセスできますが、学外からアクセスする場合は SSL-VPN※に接続した上でアクセス先 URL をクリックしてください。



※SSL-VPN についての詳細はこちら→

Pick up ②

マイページ



マイページにログインすると、以下のサービスをご利用できます。

- ▶ 貸出状況確認（借りている資料の返却期限の確認）
- ▶ 貸出延長
- ▶ 予約状況確認
- ▶ 貸出履歴の確認
- ▶ ブックマーク（保存した資料情報の確認）
- ▶ お気に入り検索（保存した検索条件の確認）
- ▶ メールアドレスの登録

（「利用状況の確認」→「利用者情報の確認・修正」から、メールアドレスを登録・確認できます。メールアドレスを登録しておくこと、予約した資料が利用可能となった際、メールでお知らせいたします。）

新収資料紹介

教職員著作目録 2020.1-2020.7 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	出版年月	配置場所	請求記号
金田一京助, 飯田朝子 (国経) ほか	編 例解学習用語辞典 第11版	小学館	2019.12	開架	D813.1/K42
池田賢市 (文), 市野川容孝	著 能力2040: AI時代に人間する	太田出版	2020.5	開架	370.4/I32
石井夏生利 (国情)	著 EUデータ保護法	勁草書房	2020.1	中央書庫/開架	316.1/I75
磯崎初二 (法), 金井利之	著 地方自治 新版(ホーンブック)	北樹出版	2020.4	中央書庫/開架	318/I85
井田良 (法), 城下裕二	編 刑法総論判例インデックス 第2版	商事法務	2019.12	中央書庫/開架	326.1/I18
井田良 (法), 佐渡島紗織	著 法を学ぶ人のための文章作法 = Writing strategies for those studying law 第2版	有斐閣	2019.12	中央書庫/開架	320.7/I18
石井知章, 及川淳子 (文)	編 六四と一九八九: 習近平帝国とどう向き合うのか	白水社	2020.1	中央書庫/開架	222.077/I75
岡崎裕史 (国情)	著 絵でわかるネットワーク (絵でわかるシリーズ)	講談社	2020.4	開架/国際情報	547.48/O39
塩崎勲, 小賀野晶一 (法)	編 交通事故訴訟 第2版(専門訴訟講座1)	民法法研究会	2020.3	中央書庫/ 市ヶ谷法務	681.3/Sh79
岡本正明 (法)	著 ブルーストから村上春樹へ: 「時間」で読み解く世界文学 (幻冬舎ルネッサンス新書 お-8-1)	幻冬舎	2020.1	中央書庫/開架	902.06/O42
加藤新太郎 (法)	編著 要件事実の考え方と実務 第4版	民法法研究会	2019.12	中央書庫/ 市ヶ谷法務	327.2/K a86
浜村彰, 唐津博 (法)	著 ベーシック労働法 第8版(有斐閣アルマ Basic)	有斐閣	2020.3	中央書庫/開架	366.14/H24
藤三川喜田敦子 (文)	編 引揚・追放・残留: 戦後国際民族移動の比較研究	名古屋大学出版会	2019.12	中央書庫/開架	334.4/A65
桐山昇 (名), 栗原浩英	著 東南アジアの歴史: 人・物・文化の交流史 新版(有斐閣アルマ Interest)	有斐閣	2019.12	中央書庫/開架	223/KI54
中央考古学会 小林謙一 (文) ほか	編 中央大学考古学論集: 小林謙一還暦記念 1	六一書房	2020.3	中央書庫/開架	210.02/C66
小林正正 (名)	著 基礎から発展まで三角関数 (専門数学への懸け橋)	ペレ出版	2020.1	開架/理開	413.53/Ko12
小向太郎 (国情)	著 情報法入門: デジタル・ネットワークの法律 第5版	NTT出版	2020.3	中央書庫/開架	316.1/Ko68
酒井克彦 (商)	著 裁判例からみる法人税法 3訂版	大蔵財務協会	2019.12	中央書庫/開架	345.3/Sa29
酒井克彦 (商)	編著 監修 クローズアップ事業承継税制: 事業承継を巡る租税法上の諸問題	財經詳報社	2019.11	中央書庫/開架	345.5/Sa29
佐藤博樹 (戦略), 藤村博之	著 新しい人事労務管理 第6版(有斐閣アルマ Specialized)	有斐閣	2019.12	中央書庫/開架	336.4/Sa85
佐藤博樹 (戦略)	編著 ダイバーシティ経営と人材マネジメント: 生協に見るワーク・ライフ・バランスと理念の共有	勁草書房	2020.2	中央書庫/開架	335.66/Sa85
杉山高一 (名), 藤越康祝	監修 R・Pythonによる統計データ科学	勉誠出版	2020.1	開架	417.5/Ts52
鈴木博人 (法)	編著 養子制度の国際比較	明石書店	2020.2	開架/市ヶ谷法務	324.632/Su96
高松理代 (理)	著 応用がみえる線形代数 (Iwanami Mathematics)	岩波書店	2020.2	理開/理開指定	411.3/Ta42
小淵洋一, 谷口洋志 (経)	編 地域創生, そして日本創生へ (日本経済政策学会叢書 2)	勁草書房	2020.2	中央書庫/開架	332.106/O14
土田哲夫 (経), 子安加余子 (経)	編著 近現代中国と世界 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 27)	中央大学出版部	2020.2	中央書庫/開架	302.1/C66
藤木恵美子 (戦略), 山口一郎	著 職場の現象学: 「共に働くこと」の意味を問い直す	白桃書房	2020.3	開架	336.4/Ts96
中村昇 (文)	著 西田幾多郎の哲学=絶対無の場所とは何か (講談社選書メチエ 717)	講談社	2019.12	中央書庫/開架	121.9/N81/N37
中村寛樹 (商)	著 はじめのアントレプレナーシップ論	中央経済社	2020.1	中央書庫/開架	335/N37
深津七人 南原一博 (名)	著 天皇制国家の古層	リフレ	2019.6	開架	210.3/F71
新原道信 (文), 宮野勝 (文), 鴨子博子 (経)	編著 地球社会の複合的諸問題への応答の試み (中央大学学術シンポジウム研究叢書 12)	中央大学出版部	2020.1	中央書庫/開架	304/N72
新田秀樹 (法), 本沢巳代子	編 トピック社会保険法 2020 第14版	信山社	2020.4	中央書庫/開架	364/Mo93
廣岡千穂 (法)	編 社会が変わるとはどういうことか?	有信堂高文社	2019.10	中央書庫/開架	411.3/H71
保坂俊司 (国情)	編著 アジア的融和共生思想の可能性 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 26)	中央大学出版部	2019.12	中央書庫/開架	302.1/C66
堀江愛子 (法), 猪股孝史 (法), 北村泰三 (法務), 目賀田周一郎 (法), 森光 (法), 中野目善則 (法), 野田博 (法), 佐藤信行 (法務), 只木誠 (法), 巨理格 (法), 柳川重規 (法) ほか	執筆 Japón: una visión jurídica y geopolítica en el siglo XXI	Universidad Nacional Autónoma de México	2019	中央書庫	340.952/J35
本庄裕司 (商)	編 Competition, innovation, and growth in Japan	Springer Nature	c2017	院	330.952/C73
曲田統 (法)	著 共犯の本質と可罰性	成文堂	2019.12	中央書庫/開架	326.15/Ma29
升田純 (法務)	著 判例消費者契約法の解説: 契約類型別の論点・争点の検証と実務指針	民法法研究会	2019.6	中央書庫/開架	365.6/Ma66
松浦司 (経)	著 現代人口経済学	日本評論社	2020.1	中央書庫/開架	334.1/Ma89
松下貞 (名)	著 統計分布を知れば世界が分かる: 身長・体重から格差問題まで (中公新書 2564)	中央公論新社	2019.10	開架/理開	中公文庫/2564 417.6/Ma88
水上雅晴 (文)	編 年号と東アジア: 改元の思想と文化	八木書店	2019.4	中央書庫/開架	210.02/Mi95
小川有美, 宮本太郎 (法)	編 社会のためのデモクラシー: ヨーロッパの社会民主主義と福祉国家 (かわさき市民アカデミー双書 6)	かわさき市民アカデミー	2019.9	中央書庫/開架	312.3/O24
フリードリヒ・ニーチェ 村井則夫 (文)	著 偶像の黄昏 (河出文庫 二 1-3)	河出書房新社	2019.4	開架/哲学	134.922/N71
フランツ・ローゼンツヴァイク	著 新しい思考 (叢書・ウニベルシタス 1104)	法政大学出版局	2019.10	中央書庫/哲学	199/R72
村岡晋一 (理)	著 名前の哲学 (講談社選書メチエ 719)	講談社	2020.1	中央書庫/開架	134.94/Mu55
村上研一 (商)	著 再生産表式の展開と現代資本主義: 再生産過程と生産的労働・不生産的労働	唯学書房	2019.10	中央書庫/開架	331.81/Mu43
森茂岳雄 (文), 川崎誠司 ほか	編著 社会科学における多文化教育: 多様性・社会正義・公正を学ぶ	明石書店	2019.6	中央書庫/開架	375.3/Mo55
山田昌弘 (文)	著 結婚不要社会	朝日新聞出版	2019.5	中央書庫/開架	367.4/Y19 朝日新書/717
山西博之 (理), 大年順子	編著 中・上級英語ライティング指導ガイド	大修館書店	2019.11	開架	375.89/Y37
井上良二 古田智也 (商), 市川紀子	編著 財務会計論 新版3訂版	税務経理協会	2019.10	中央書庫/開架	336.9/I57
鷹倉いづみ (理)	著 実践で学ぶ<生物多様性> (岩波ブックレット No.1015)	岩波書店	2020.1	開架	519.5/W44
渡邊浩司 (経)	編著 アーサー王伝説研究: 中世から現代まで (中央大学人文科学研究研究所研究叢書 71)	中央大学出版部	2019.12	中央書庫/開架	930.2/W46

* (法): 法学部、(経): 経済学部、(商): 商学部、(理): 理工学部、(文): 文学部、(総): 総合政策学部、(国経): 国際経営学部、(国情): 国際情報学部、(法務): 法務研究科、(戦略): 戦略経営研究科、(研): 研究開発機構教授、(名): 名誉教授
* スペースの都合上、配置場所は2ヶ所まで表記している。



公式Twitter運用中!



中央図書館
@ChuoU_CLib



理工学部分館
@ChuoU_SELib



国際機関資料室
@ChuoU_idr

